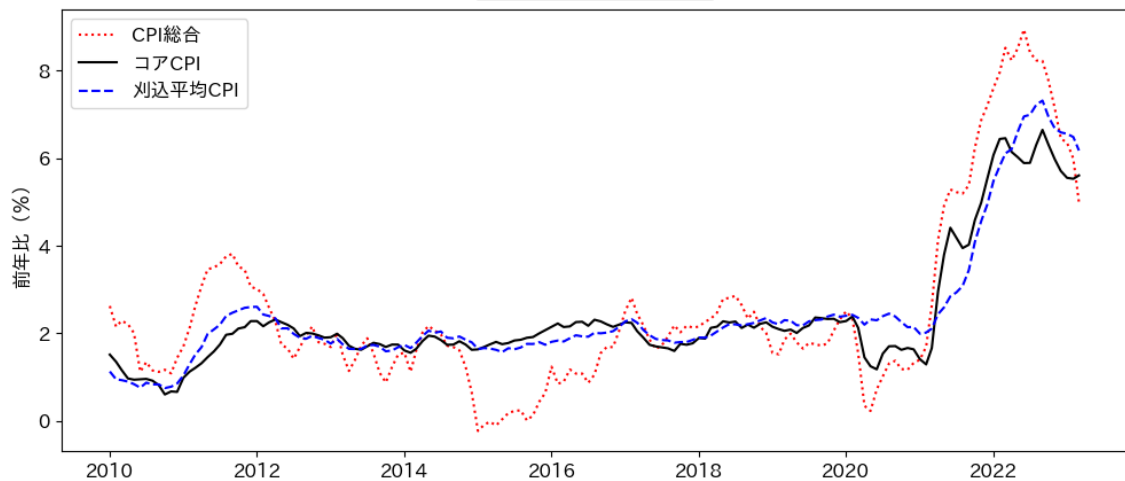


## (米国) 高止まりが続く消費者物価指数

3月の消費者物価指数(CPI)を確認すると、総合はエネルギー価格の下落が大きかったことから前月比0.1%、前年比5.0%と鈍化傾向が継続した。食料とエネルギーを除くコアは前月比0.4%と4か月ぶりに鈍化したものの、前年比では5.6%と依然として高い水準が続いている。また、住宅費の伸びは前月比0.6%へ2月の同0.8%から鈍化したものの、前年比では8.2%と高止まりしている。

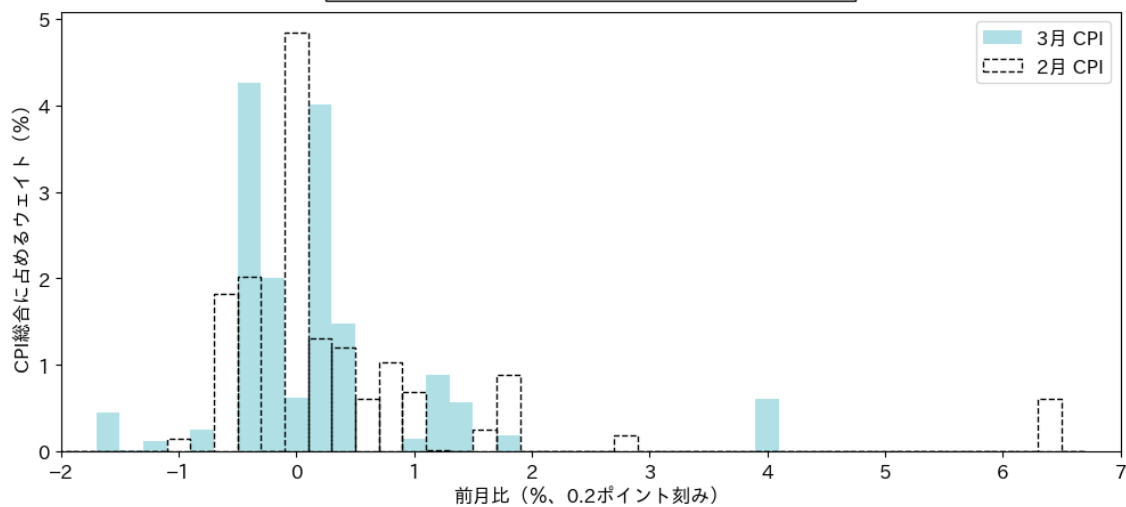
消費者物価指数の推移



(出典) 米労働統計局、FRED

サービスセクターのインフレ率を考える上で注目される「住宅を除くコア・サービス」に該当する各項目について、前月比でのインフレ率の分布を確認すると、3月は前月比マイナスとなった項目が増加したことが確認できる。

住宅を除くコアサービスCPIのヒストグラム (3月)



(出典) 米労働統計局 (注) Indent Level = 5。